

『評価者の役割と評価の方法』 研修会実施報告

日時 : 令和4年6月18日(土) 08:30~17:15
対象者 : 係長
参加者数 : 23名 一般参加者2名
目標 : 評価者の役割や求められる能力を学び、人材育成につながる
評価方法を習得する

<講師の紹介>

奈良学園大学 保健医療学部
看護学科 教授
服部 律子 先生



<内容>



今回の研修では、評価の基本と評価者の役割について学びました。専門職である看護師育成の為の評価方法としては、小さな成功体験を積み重ねられるスモールステップが効果的だと学びました。様々な場面で評価する上で大切なことは、相手の「できないこと探し」をするのではなく、相手に関心をよせ、できない原因を共に考え、できない気持ちを共感できる伴奏者として支援することだと気づかされました。

支援者であるためには、「人はいつかできるようになる」と信じることや「成長の時間は人によって違う」

ということを理解し、評価される側の努力を認め、誉めて伸ばすことが支援者である基本と教えていただきました。評価は到達度だけを見るのではなく、評価される側のプロセスを大切にすることで、相手を尊重した関わりができ、非難や批判をしない風土や環境作りに繋げることも大切と学びました。研修後のアンケートでは、「できなかった原因や背景要因を聞きサポートしていきたい」「頑張っている過程を見逃さず、達成時には認めてあげたいと思う」などの意見が多くありました。評価者として良き支援者となれるよう研修の学びや気づきを今後の人材育成に活かして頂きたいと思っております。